



【受講者の一言感想】編 紹介 (当日回収分のみ)

第7回 テーマ:「人工知能やゲノム編集などの科学
技術革新により大変革する社会を生き抜く」

講師:長浜バイオ大学学長&京都高齢者大学校長 蔡晃植 先生

■ いろんな方面に興味の広がる“バイオ”を学ぶ楽しさをあらためて感じた。日本のいろんな方面の現状や問題点などを知ることが出来てよかった。(女性 71 歳)



■ とても面白い講義でした。AIとは、テレビなどでよく聞きますが、今日びっくりしたことは、AIグーグルの辞書の事、たまに面白半分に分で日本語の単語を話すと英語で返ってきます。京都弁の発音でもわかってくれる。これが不思議に思っていました。学習していたのですね。これから先の人間社会、おもしろそうですがどうなるのでしょうか？(女性 80 歳)

■ AIの進歩がよくわかる。ビッグデータがどうして重要なのかも、わかりやすく理解できた。AIの進歩にいかに追いつき、利用できるかが重要なのだとわかる。ゲノム編集のすごさがよくわかる。サイエンスイノベーションとどうつきあっていくか？(男性 68 歳)



■ ①DNAの取り出し実習させてもらったり、前月は②進化から見たオスとメスの関連を教えてもらったり、今日は③バイオサイエンスを歴史的に考える事、サイエンスイノベーション⇒AI⇒と、いろんな切り口で講義していただいて、バイオの世界の広さを改めて認識いたしました。特に②③は、非常に感動して聴講しました！本セミナーは2018年度、2019年度の受講で終了しようと考えていたのですが、2020年度も受講した方が良くないかなあ〜と、考え直し中です。(男性 77 歳)

■ 前年の入学式でしたか、先生がAIに於いて、日本は余りにも遅れをとっているとおっしゃいました。ところが、この所、新聞紙上でも、この話題がいっぱい。今日、遅れということは、どういうことか〜わかりました。結局、私たちはどんな暮らしをしたいか〜あらゆる分野で求められている時代だと思うのですが…。(女性 81 歳)



- **サイエンス イノベーションの必要性が判った。** A I の必要性も大。工場等のシーケンス制御は変化する。今までの制御行動が変化する。AIがもてはやされるが、



その次のサイエンスイノベーションが何か。今日は、今の時点での先の読みであったが、10~20年先の時でのイノベーションはどのようなものになるのか？

今時点と異なったものが発生するのか？ 問題点を挙げられたが、これを駆逐した次は何がでるか？ (男性 75 歳)

- 何でも**最終は、倫理にすぎざるを得ない。やはり人間は必要。**再認識。(男性 70 歳)

- A I を含めて、**社会のイノベーションが必要、変革が必要、幅広い考えが必要で頭の切り替えが必要**と思います。(男性 75 歳)



- **サイエンスイノベーション？って“ナニ”**としましたが、先生のお話を聞いて、**大変勉強になりました。ゲノム編集も！** ありがとうございます。(女性 71 歳)

- **目からウロコのことばかり**でした。とにかく、**まず AI の勉強をしよう！**としました。子ども達とも話し合わなければならないことが多々あるな、と思います。**年はいっていますが、頑張らねば**と思います。(女性 58 歳)

- **たびたび驚くばかりで、すべてが勉強**になりました。**サイエンスイノベーションの必要性と、それにもとづく新時代が迫っていることが良く分かりました。**それにしても、他の国に比べ、日本が遅れていることは残念に思います。(男性 74 歳)



- **久々に参加**させて頂きましたが、**とても楽しく勉強**させてもらいました。話がおもしろく、わかりやすかったです。子どもが、**大学で勉強**させてもらっているのが、**うらやましく**思いました。サイエンスイノベーション **がんばれ!!** (女性 50 歳)

- **ゲノム編集を人間の病気治療に生かすべき**としました。(男性 75 歳)

- 「今日は絶対むつかしくてわからないだろう」と思いつつ参加しましたが、**楽しいお話を聞いて、今、少しだけ分かったような**気がします。今、この年になって、**すごい時代・こわい時代に**生きているんだなあと思います。次世代の人々に安全な世界を残せるのでしょうか？ (女性 72 歳)

■ 「鯉節」も「君の名は」もバイオサイエンス！ ととてもとても楽しくて、興味深いお話しばかりでした。キノコ見分けアプリとハウレン草の改良をよろしくお願ひします。(女性 48 歳)

■ バイオサイエンス脱線系が面白い。広い範囲からフリーハンドでドンドン進む。さすが学長。そうか！、ビッグデータか、サイエンスイノベーションか。「もうついて行けない。早く生きててよかった。ストレスセーフで終われるか」…これ本音。(女性 81 歳)



■ 蔡学長の講義を待ち望んでいました。とてもわかりやすく、おもしろい時間でした。また、来年も参加したいです。(女性 51 歳)



■ とても楽しく聴かせていただき、あっという間に時間が経ってしまいました。特別講座のようなものをしていただくと嬉しいと思いました。(女性 58 歳)

■ 先生のお話を、これからのお母さんに聞いてほしいと思いました。AIに何を教えるか？ 子供に教えるのと一緒にだという言葉に「ほんとうに…」4年前の私の一押しのバイオに入学できたのにもっと勉強してほしいな～と…。けど本日、私がもっと勉強したくなって良かったかな～って思えました。有難うございました!! これからを楽しみます！ (女性 52 歳)

授業風景





【伝言版】

＜今回もたくさんの方の感想をありがとうございました!!＞

■前回は、7年連続 蔡学長の登場で、サイエンスイノベーションについて、講演と活発な質疑応答、そしてバイオカフェに至るまでたっぷり語られました。盛りだくさんな興味深い内容を、実に明快に、楽しく展開していただきました。最先端科学の中でも、知って頂きたい大事なキーワードを取りだし解説、今年も「そうだったのか!!」と驚く内容を含め、人工知能（AI）やゲノム編集の現在や未来、そして課題などを語り、皆さんに、大きく変わりゆくサイエンスイノベーションとどう付き合っていくか、大いに考えていただく講座でもありました。あなたにとっていかがでしたでしょうか？

■感想文にもありますが、昨年の入学式でAIやゲノム編集に触れたお話をされましたが、その後まさに出版物やマスコミ等でも先生のお話の通り、注目の話題となっています。

■たった1年でも科学はどんどん進化。特にバイオの世界は、環境、医学、薬学、工学、農学、情報(AI)等…様々な分野で日々新しい研究・発見が続きます。その成果を踏まえた講義に、脳も大いなる刺激を受け、元気と若さの源になっている方も多いと思います。2020年度も更に分かり易さを追求し、驚き・発見や納得の声を強めたいと先生方も考えています。＜講座の進化にもご期待ください。＞

■来年の京都高齢者大学の案内パンフを12月初めにご家庭に発送。その中に、「バイオの世界」の**2020 詳細内容版チラシ**も入っています。…**1番内容が詳しく、担当の先生方の説明です。ぜひお読みください。**今日は、同じものを配布物の中に入れてありますので、いいなと思ったら皆さんの友人・知人にもご紹介下されば幸いです。■次年度は8年目を迎えます。バイオ講座開講の第1回講座を担当していただいた大平先生にも再登場していただきます。東北大震災のすぐあとに東北に行かれ、笑いの研究と普及に尽力されている方ですが、健康と笑いの研究も随分、進化したとのこと。今からそのお話が楽しみです。■**皆さんの要望をもとに新しく設置するのが、「スーパーバイオカフェ」**…バイオカフェより長く時間をとって、**受講者交流・親睦をはかります。**大島先生の回**(4月と10月)だけ実施**します。15:00~17:00 これはお菓子でも食べながら交流し、より楽しく講座に来ていただきたいと企画します。お楽しみに!!

■**2020 募集受付期間は、2020.1.6(月)~1/24(金) 年明けすぐ。**定員超過講座は、抽選会を実施。早めにお申込下さい。【バイオ担当：鈴木信夫：お問合せ 080-5323-8202】